

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立七戸養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input checked="" type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	修学旅行で行きたい場所を発表しよう！		
	単元(題材)の目標	自分が行きたいところを掲示することができ、友達が行きたい場所を知ることができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	3 年 9 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・自ら手を挙げて発表することが不得意な生徒がいる。 ・昼休みに頻繁に iPad を操作している生徒がいる。 ・iPad や携帯電話の基本的な操作方法は全員理解している。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 i P h o n e、i P a d		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 P o s t - i t	アプリマーク	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	・ P o s t - i t アプリを使用して自分の意見を述べたり、思考を整理したりすることができる。 ・生徒の意見をデータとして残して、振り返りや確認をしやすくする。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ほとんどの生徒が i P h o n e や i P a d に馴染みがあるので、スムーズに活動に取り組むことができた。男子グループと女子グループに分かれて、使い方を説明しながら一人一人順番に記載するよう提示した。最初は教師の支援を受けながらの操作だったが、使い方がわかると生徒一人で操作することができ、発表が苦手な生徒も、自分の行きたいところや食べたいもの、やってみたいことを記載することができた。後日、保存したものを TV 画面に映し、同じ意見や似たような意見をまとめた。生徒の意見がデータとして残るため、誰の意見だったのか確認しやすいと感じた。男子グループと女子グループで 1 台ずつ i P h o n e を使用したが、データの共有もできるため活用性が高いと感じた。また、ICT 機器を使った授業となると生徒のモチベーションアップにも繋がるため有効であった。			